

NASCA

User's Guide

目次

1	はじめに	1
2	機能概要	3
3	インストール／アンインストール	5
	インストール	5
	アンインストール	7
4	ユーザー情報管理機能	8
	認証デバイス／認証規則の管理(管理者用)	8
	認証情報／認証規則の設定	10
	認証デバイスの設定方法	14
	認証ポリシーの設定	20
5	ユーザー認証機能	21
	Windows ログオン認証	21
	ユーザー認証	22
6	TPM によるデータ保護	23
	TPM 認証	23
7	Web フォームバンク機能	24
	Web フォームデータ登録	25
	Web フォームデータ入力補助	30
8	アプリケーションバンク機能	31
	アプリケーションバンクデータ登録	31
	アプリケーションバンクデータ入力補助	36
	任意のアプリのID／パスワード入力	37
9	エクスポート／インポート機能	39
	エクスポート	39
	インポート	41
10	Q&A	42

1 はじめに

「NASCA」は「NEC Authentication Agent」の略称です。

NASCA は、指紋、FeliCa カード、USB メモリなど、複数の認証デバイスを使用した高度な個人認証機能で、認証を受けていない人がコンピュータを使うことを防止したり、セキュリティチップを使用した強固なデータ保護をするセキュリティソフトウェアです。

「2 機能概要」、および「3 インストール／アンインストール」を読んだ後に、該当するページをご覧ください。

■動作環境について

本製品をインストールするには、次の環境が必要です。

[対応OS]

- Microsoft Windows XP Professional Service Pack 2

※日本語版のみ対応です。

※Microsoft Windows XP Professional x64 Edition には対応していません。

※記載されていないOS (Windows 95/98/Me(Millennium Edition)/NT、Mac OSなど) では使用できません。

■本マニュアルで使用している記号／用語について



チェック

: してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。



メモ

: 利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



参照

: マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

TPM

: セキュリティチップを指します。

TPM PIN

: セキュリティチップの基本ユーザーパスワードを指します。

TPM 認証

: セキュリティチップを用いた暗号化に必要な認証を指します。
セキュリティチップの基本ユーザーパスワード(TPM PIN)を入力する必要があります。

Nasca-Admin

: NASCA 管理者を指します。

■ 関連マニュアルについて

指紋センサ

→『指紋センサ(ライン型)ユーザーズガイド』

FeliCaポート

→『FeliCaポートマニュアル』

TPM

→『VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル』の『セキュリティチップ ユーティリティマニュアル』、
または『Mate/Mate J 電子マニュアル』の『セキュリティチップ ユーティリティマニュアル』

SDメモリーカード

→『VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル』の『活用ガイド ハードウェア編』

《 商標・著作権について 》

- Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 「Edy」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。

2 機能概要

NASCA には次の機能があります。

■ユーザー情報管理機能 (p.8)

NASCA で使用する認証デバイスに関する情報や動作上のポリシーを管理します。

a) 認証デバイス／認証規則の管理 (管理者用)

各ユーザーの認証で使用可能な認証デバイスや認証規則を管理します。

b) 認証情報／認証規則の設定

ユーザーの認証に使用する認証デバイスの情報(認証情報)と 認証デバイスの組み合わせ(認証規則)を設定します。

c) 認証ポリシーの設定

ユーザー認証を要求するタイミングを設定します。

■ユーザー認証機能 (p.21)

Windows パスワード以外の認証デバイス(指紋、FeliCa カード、USB メモリなど)によるデバイス認証機能を提供します。

a) Windows ログオン認証

Windows ログオン時にデバイス認証を要求します。

b) ユーザー認証

NASCA のユーザー情報管理機能 / Web フォームバンク機能 / エクスポート機能等を使用する際にデバイス認証を要求します。

■TPM によるデータ保護 (p.23)

TPM を搭載した装置では、NASCA が管理するデータの一部を、TPM を用いて暗号化することができます。TPM を使用することで、より安全にデータを保護することができます。

■Web フォームバンク機能 (p.24)

任意の Web ページでユーザーが入力したデータを保存し、ユーザーの入力処理を補助します。

■アプリケーションバンク機能 (p.31)

任意のアプリケーションでユーザーが入力したデータを保存し、ユーザーの入力処理を補助します。

■エクスポート／インポート機能 (p.39)

ユーザーの認証に関する情報や Web フォームバンクデータ、アプリケーションバンクデータをエクスポート／インポートします。

3 インストール／アンインストール

インストール

NASCA を完全／カスタムインストール、または追加インストールする場合は、次の手順を行ってください。



- インストールは必ずコンピュータの管理者権限を持ったユーザー(ユーザー名は半角英数字)でログオンして行ってください。
- TPM をご使用になる場合、インストールを始める前に TPM の初期化を行ってください。
- FeliCa ポートをご使用になる場合、インストールを始める前に「FeliCa リーダー／ライター ソフトウェア」をインストールする必要があります。詳しくは、「FeliCa ポートマニュアル」をご覧ください。
- 「ユーザー情報管理機能」「エクスポート／インポート機能」は、完全／カスタムインストールのどちらを選択してもインストールされます。

■NASCA 管理者

NASCA をお使いになるには、インストール中に NASCA の管理者(以下、「NASCA 管理者」)を設定する必要があります。

- ユーザー「Nasca-Admin」が NASCA 管理者として新規作成されます。
- NASCA 管理者は、管理者専用の機能（認証デバイス／規則の管理、ユーザーの初期化)を使用することができます。
- NASCA 管理者は、デバイスを使用した認証機能を使用することができません。



ユーザー「Nasca-Admin」がインストール前から既に存在する場合、このユーザーを管理者として設定します。インストールを行う前に、このユーザーを管理者として設定して良いかどうかを確認してください。

■完全インストール、カスタムインストール

初めて NASCA をインストールする場合は、次の手順でインストールを行ってください。

- 1 Windows を起動する
- 2 CD/DVD ドライブに「アプリケーション CD-ROM」をセットする
- 3 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック
- 4 「プログラムの追加と削除」をクリック
- 5 「プログラムの追加」ボタンをクリックし、「CD またはフロッピー」ボタンをクリック
- 6 「フロッピーディスクまたは CD-ROM からのインストール」画面で「次へ」ボタンをクリック
- 7 「<CD/DVD ドライブ名>:¥NXSETUP.EXE」と表示されていることを確認し、「完了」ボタンをクリック



表示されない場合は「参照」ボタンをクリックし、「<CD/DVD ドライブ名>:¥NXSETUP.EXE」と入力し、「開く」ボタンをクリックしてください。

- 8 「NEC Authentication Agent(NASCA)」を選択し、「インストール」ボタンをクリック
- 9 「NASCA セットアップへようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

10「セットアップタイプ」と表示されたら、セットアップタイプを選択して、「次へ」ボタンをクリック
「すべて」を選択した場合は、手順 12 へ、「カスタム」を選択した場合は手順 11 へ進む

11「機能の選択」と表示されたら、インストールする機能を選択し、「次へ」ボタンをクリック

12「オプションタイプ」と表示されたら、オプションを選択し、「次へ」ボタンをクリック

メモ

TPM を使用しない場合は、Windows に搭載された暗号化機能によって登録したデータを保護します。TPM が搭載されている装置をお使いの場合は、セキュリティを高めるため TPM を使用することをおすすめします。

チェック

- TPM が搭載されていない装置をお使いの場合は、「登録したデータを保護するために TPM を使用します」を選択しないでインストールを行ってください。
- ここで選択したオプションの設定「登録したデータを保護するために TPM を使用します」は、インストール後に変更することができません。

13「インストール準備の完了」と表示されたら、「インストール」ボタンをクリック

インストールが始まります。

14「管理者の設定」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリック

15「パスワードの設定」画面が表示されたらパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリック

16「InstallShield Wizard の完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

17CD/DVD ドライブから「アプリケーション CD-ROM」を取り出し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

続いて、「4 ユーザー情報管理機能」の「認証デバイス／認証規則の管理(管理者用)」(p.8)をご覧ください。使用可能な認証デバイスや認証規則の設定を行ってください。

■追加インストール

NASCA をインストールした後、インストールしていない機能を追加したい場合は、次の手順で追加インストールを行ってください。

1 Windows を起動する

2 CD/DVD ドライブに「アプリケーション CD-ROM」をセットする

3 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック

4 「プログラムの追加と削除」をクリック

5 「NASCA」を選択し、「変更」ボタンをクリック

6 「ようこそ」と表示されたら、「変更」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

7 「機能の選択」と表示されたら、追加したい機能にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリック
インストールが始まります。

8 「メンテナンスの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック

9 CD/DVD ドライブから「アプリケーション CD-ROM」を取り出し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

アンインストール

NASCA を全てアンインストール、または一部機能をアンインストールする場合は、次の手順を行ってください。



アンインストールは必ずコンピュータの管理者権限を持ったユーザー(ユーザー名は半角英数字)でログオンして行ってください。

■ 全てアンインストール

- 1** Windows を起動する
- 2** 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック
- 3** 「プログラムの追加と削除」をクリック
- 4** 「NASCA」を選択し、「削除」ボタンをクリック
- 5** 「選択したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除します。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
アンインストールが始まります。

- 6** 「アンインストール完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 7** Windows を再起動する

以上でアンインストールは完了です。

■ 一部機能をアンインストール

- 1** Windows を起動する
- 2** 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」をクリック
- 3** 「プログラムの追加と削除」をクリック
- 4** 「NASCA」を選択し、「変更」ボタンをクリック
- 5** 「ようこそ」画面が表示されたら、「変更」を選択し、「次へ」ボタンをクリック
- 6** 「機能の選択」画面が表示されたら、削除したい機能のチェックを外して、「次へ」ボタンをクリック
アンインストールが始まります。
- 7** 「一部の機能を削除します。続行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック
- 8** 「メンテナンスの完了」と表示されたら、「完了」ボタンをクリック
- 9** Windows を再起動する

以上でアンインストールは完了です。

4 ユーザー情報管理機能

ユーザー情報管理機能では次の情報を管理することができます。

- 認証デバイス／認証規則の管理(※)
- 認証情報／認証規則の設定
- 認証ポリシーの設定

(※は NASCA 管理者のみが情報を管理することができます)

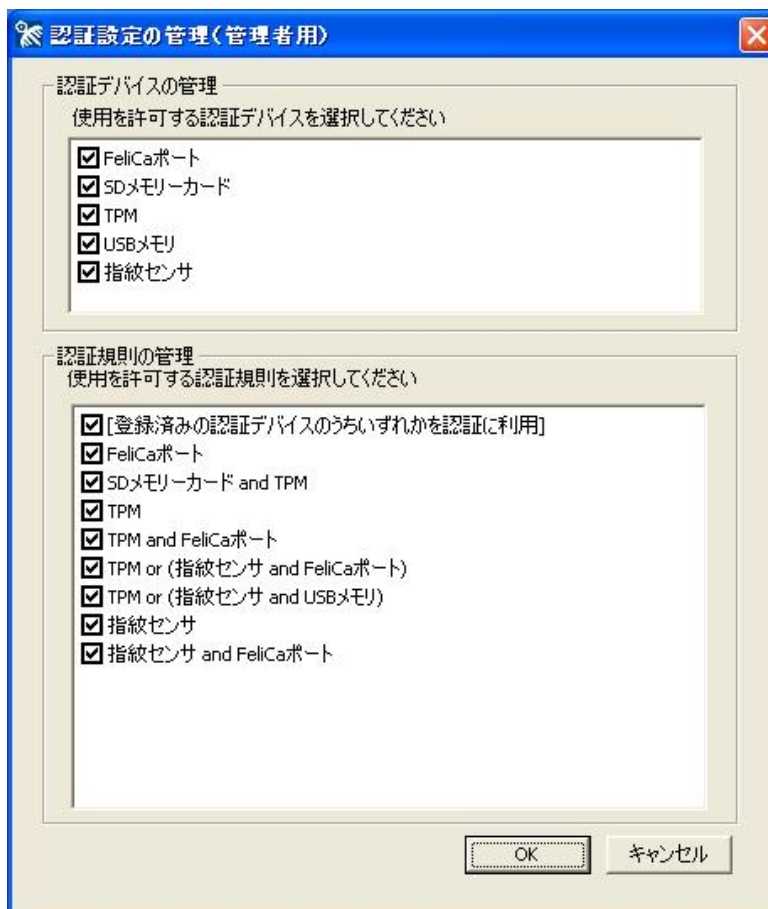
認証デバイス／認証規則の管理 (管理者用)

各ユーザーの認証に必要となる認証デバイスや認証規則を、あらかじめ用意されたものの中からひとつ以上選択し、“使用可能な”認証デバイスや認証規則を設定することができます。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「認証設定の管理(管理者用)」をクリック



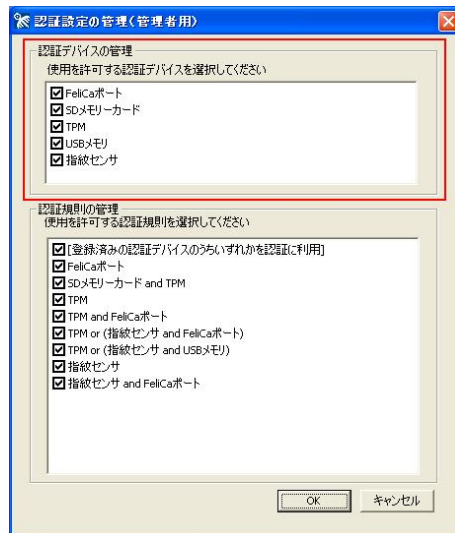
NASCA 管理者以外のユーザーでは起動できません。



■ 認証デバイスの管理

使用可能なデバイスを選択します。

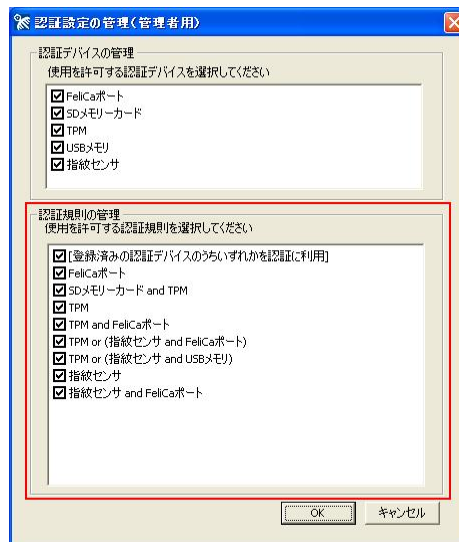
ここで選択されていないデバイスは、Windows ログオン認証画面／ユーザー認証画面で表示されません。



■ 認証規則の管理

使用可能な認証規則を選択します。

ここで選択した規則のみ、「認証情報／認証規則の設定」の「■ 認証規則の設定」(p. 13)で選択することができます。



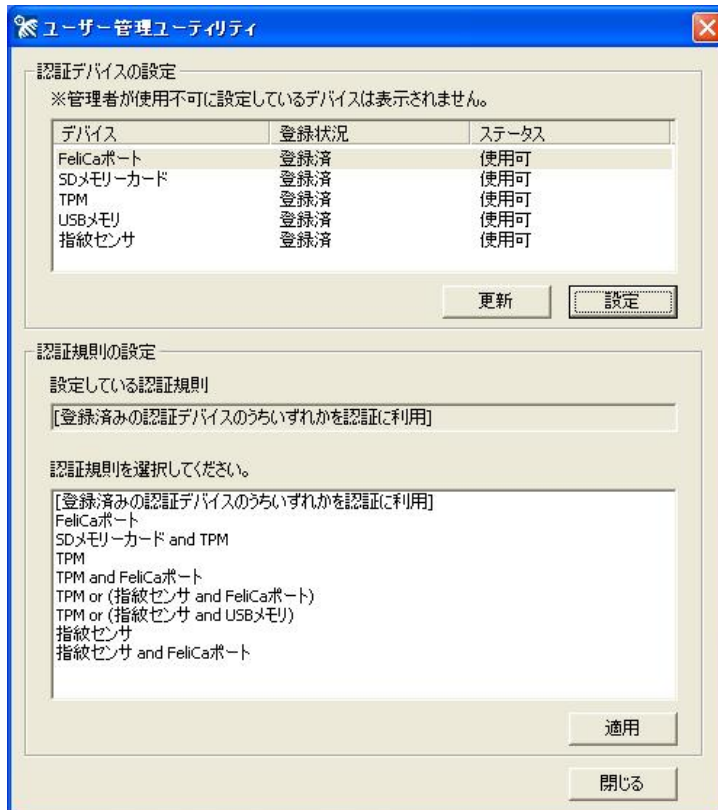
- 「■ 認証デバイスの管理」で選択されていないデバイスを含む認証規則は選択することができません。
- 既に他のユーザーが設定している認証規則を、使用可能な認証規則から外した場合、そのユーザーは認証に成功しなくなりますので、ご注意ください。

認証情報／認証規則の設定

認証規則の選択と、認証に必要なデバイス情報の登録をユーザー毎に行います。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「ユーザー管理ユーティリティ」をクリック

「ユーザー管理ユーティリティ」が表示されます。

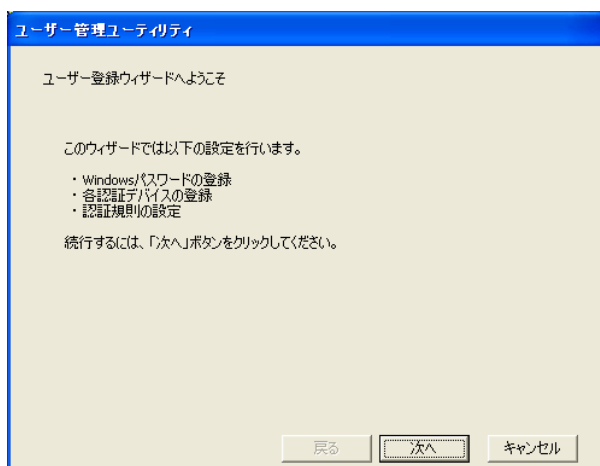


- NASCA 管理者は「ユーザー管理ユーティリティ」を起動できません。
- 初めて「ユーザー管理ユーティリティ」を起動した場合は、「ユーザー登録ウィザード」が表示されます。「■ユーザー登録を行う」(p.11)をご覧ください、ユーザーの登録を行ってください。
- ユーザー登録完了後は、「ユーザー管理ユーティリティ」起動時にユーザー認証が必要になります。

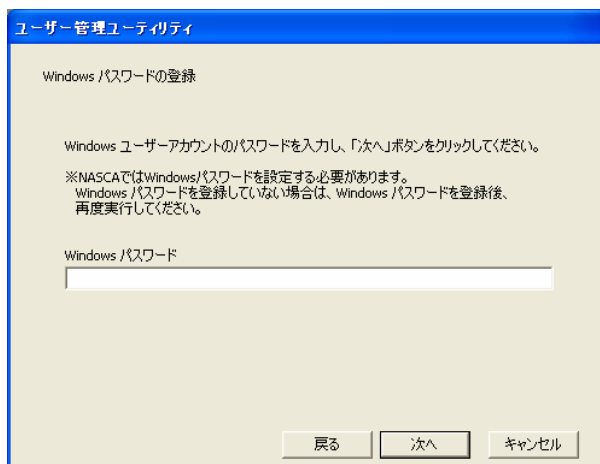
■ ユーザー登録を行う

初めて「ユーザー管理ユーティリティ」を起動した場合、「ユーザー登録ウィザード」が表示されます。

1 「ユーザー登録ウィザードへようこそ」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリック



2 「Windows パスワードの登録」と表示されたら、パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック



NASCA では、Windows パスワードを設定する必要があります。ユーザーの Windows パスワードが設定されていない場合は、いったん「ユーザー登録ウィザード」を閉じ、Windows パスワード設定後、再度実行してください。

引き続き、認証情報／認証規則の設定を行います。

詳細については、「■ 認証情報の設定」(p.12)、「■ 認証規則の設定」(p.13)をご覧ください。

■ 認証情報の設定

デバイス認証に使用するデバイスの認証情報を登録／削除／参照することができます。
認証情報を登録したいデバイスを選択し、「設定」ボタンをクリックし、各認証デバイスの設定を行います。

デバイス	登録状況	ステータス
FeliCaポート	登録済	使用可
SDメモリーカード	登録済	使用可
TPM	登録済	使用可
USBメモリ	登録済	使用可
指紋センサ	登録済	使用可



設定方法については「認証デバイスの設定方法」(p.14)をご覧ください。



「認証デバイス／認証規則の管理(管理者用)」の「■ 認証デバイスの管理」(p.9)で選択されていない認証デバイスは表示されません。



「ステータス」欄には、デバイスの使用可否状態が表示されます。「ユーザー管理ユーティリティ」起動中にデバイスを取り外すなどして、「ステータス」欄の表示状態と実際の状態に差が生じてしまった場合は、「更新」ボタンをクリックすることで表示を最新の状態に更新することができます。

■ 認証規則の設定

ユーザー認証で使用する認証規則をリストから選択し、「適用」ボタンをクリックします。

ユーザー管理ユーティリティ

認証デバイスの設定

※管理者が使用不可に設定しているデバイスは表示されません。

デバイス	登録状況	ステータス
FeliCaポート	登録済	使用可
SDメモリーカード	登録済	使用可
TPM	登録済	使用可
USBメモリ	登録済	使用可
指紋センサ	登録済	使用可

更新 設定

認証規則の設定

設定している認証規則

[登録済みの認証デバイスのうちいずれかを認証に利用]

認証規則を選択してください。

[登録済みの認証デバイスのうちいずれかを認証に利用]

- FeliCaポート
- SDメモリーカード and TPM
- TPM
- TPM and FeliCaポート
- TPM or (指紋センサ and FeliCaポート)
- TPM or (指紋センサ and USBメモリ)
- 指紋センサ
- 指紋センサ and FeliCaポート

適用

閉じる



- 「■ 認証情報の設定」(p.12)で、認証情報の登録を行っていないデバイスを含む認証規則は表示されません。
- 「認証デバイス／認証規則の管理(管理者用)」の「■ 認証規則の管理」(p.9)で選択されていない認証規則は表示されません。

以上でユーザー登録は完了です。

認証デバイスの設定方法

■FeliCa カード情報の設定

ユーザー毎に3つまで、FeliCa カード情報の登録、および削除を行うことができます。



現在 NASCA が対応しているのは、Edy 機能搭載カードのみです。

※ 登録されていない場合は“未登録”と表示されます。

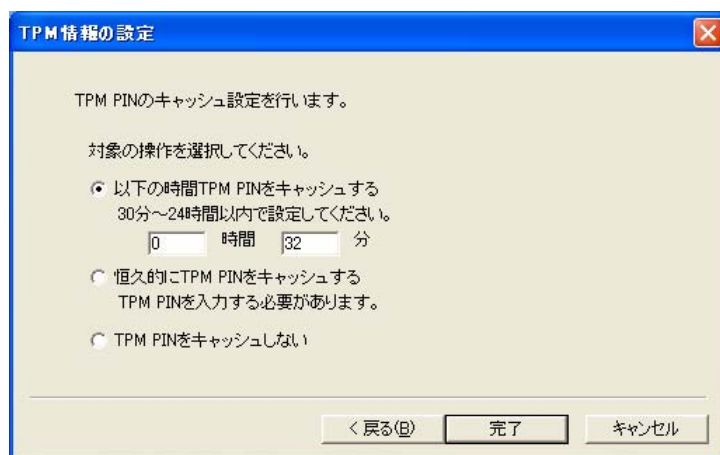
登録	FeliCa カードの情報を登録します。 認証デバイスとして登録する FeliCa カードを、FeliCa ポートにかざしてください。カードが正常に認識されると、「この FeliCa カード情報を登録します。」と表示されます。
削除	登録済みの FeliCa カードの情報を削除します。

■TPM 情報の設定

TPM PIN をキャッシュする時間の設定を行うことができます。

メモ

TPM 認証のために入力した TPM PIN はここで設定された時間内はキャッシュ(保存)されます。
TPM PIN がキャッシュされている間は、TPM 認証が自動的に行われるため、TPM によって保護されたデータにアクセスする場合でも、TPM PIN を入力する必要がなくなります。
TPM によるデータの保護については、「6 TPM によるデータ保護」(p.23)をご覧ください。



以下の時間 TPM PIN をキャッシュする	30 分～24 時間以内で TPM PIN をキャッシュする時間を設定することができます。
恒久的に TPM PIN をキャッシュする	恒久的に TPM PIN をキャッシュします。 正しい TPM PIN を入力する必要があります。 
TPM PIN をキャッシュしない	TPM PIN をキャッシュしません。

チェック

TPM PIN がキャッシュされている状態で、TPM PIN を変更した場合は、必ずキャッシュ時間の設定をし直してください。
ログオフやユーザーの切り替えを行うと、キャッシュが消去される場合があります。そのような場合は、必要に応じて再度 TPM PIN の入力をするか、あらかじめ恒久的に TPM PIN をキャッシュするように設定し直してください。

■USBメモリ情報の設定

ユーザー毎に3つまで、USBメモリ情報の登録、および削除を行うことができます。



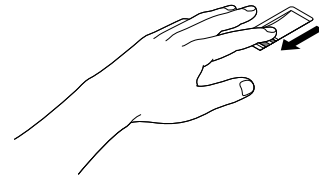
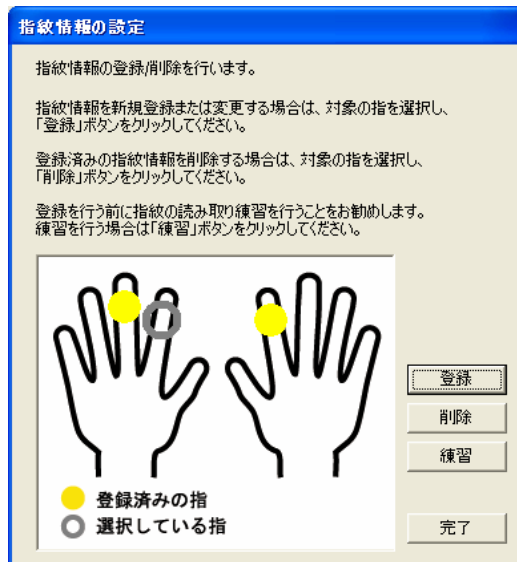
- 認証には、USBメモリの固有情報であるシリアルナンバーを利用します。シリアルナンバーを持たないUSBメモリはご利用になれません。
- 登録を行う際には、登録したいUSBメモリ以外のUSBメモリは取り外してください。
- USBメモリを4つ以上接続した場合は、認証デバイスとしては正しく動作しません。

※登録されていない場合は“未登録”と表示されます。

登録	USBメモリの情報を登録します。 認証デバイスとして登録するUSBメモリをUSBポートに挿入してください。USBメモリが正常に認識されると、「USBメモリ情報の登録が完了しました。」と表示されます。
削除	登録済みのUSBメモリの情報を削除します。

■ 指紋情報の設定

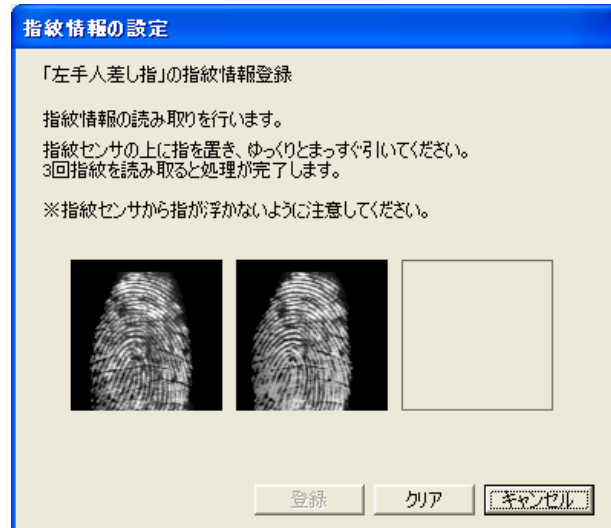
ユーザー毎に、各指の指紋情報の登録、削除を行うことができます。



※ 既に登録が完了している指は、黄色で表示されます。

登録

指紋情報の登録を行います。



指紋の読み取りを3回行います。登録する指を3回読み取らせてください。

指紋情報が正常に読み取られると「指紋情報の読み取りが完了しました。」と表示されます。

3回読み取れても、3枚の画像の中で1枚でも白くすれたような画像がある場合は、運用時の認識率低下につながる場合がありますので、「クリア」ボタンを押して登録し直してください。

削除	登録済みの指紋情報を削除します。
練習	指紋の読み取りの練習を行うことができます。

メモ

指紋の登録は登録しやすい指を、複数本登録されることをおすすめします。

次のような場合は、指紋の登録が難しいことがあります。

- ・ 汗や脂が多く、指紋の間が埋まっている
- ・ 極端に乾いている
- ・ 指紋が小さすぎる
- ・ 指紋が大きすぎる
- ・ 指紋が渦を巻いていない
- ・ 手が荒れている
- ・ 摩耗により指紋が薄い

汗や脂が多い場合には指をよく拭き、手荒れや乾いている場合にはクリームなどを塗ることにより改善される場合があります。

また、指先が小さい場合は、なるべく大きな親指などで登録してください。

また、次のような場合には、指紋の特徴が変化し、照合時に不一致が起きやすくなります。

- ・ 夏期など、汗や脂が多い場合
- ・ 冬期など、極端に乾いている場合
- ・ 手が荒れたり、けがをした場合
- ・ 急に太ったり、痩せたりした場合

登録が難しい場合は、照合時にも不一致がおきやすい傾向があります。

すべての指が登録しにくい場合には、同じ指を複数本登録することで、照合時の不一致がおきにくくなります。

■SD メモリーカード情報の設定

ユーザー毎に3つまで、SD メモリーカード情報の登録、および削除を行うことができます。



コンピュータに内蔵された SD メモリーカードスロットでのみ SD メモリーカード情報を読み込むことができます。お使いのコンピュータに SD メモリーカードスロットが内蔵されていない場合はご利用になれません。

※登録されていない場合は“未登録”と表示されます。

登録	SD メモリーカードの情報を登録します。 認証デバイスとして登録する SD メモリーカードを SD メモリーカードスロットに挿入してください。SD メモリーカードが正常に認識されると、「SD メモリーカード情報の登録が完了しました。」と表示されます。
削除	登録済みの SD メモリーカードの情報を削除します。

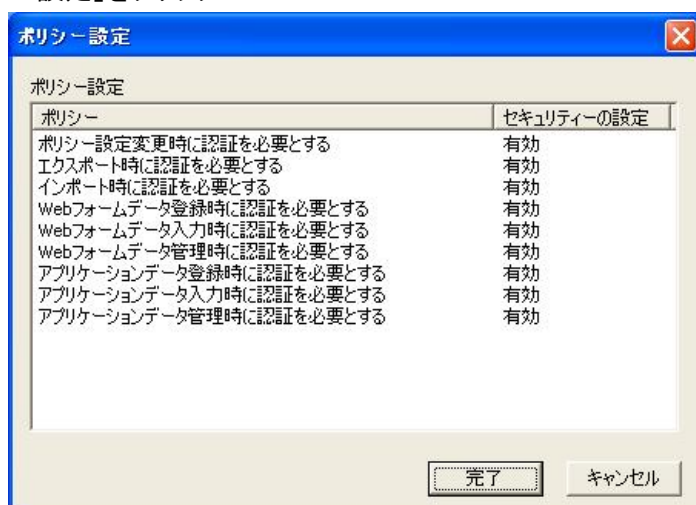
認証ポリシーの設定

NASCA を使用する上で、ユーザー認証を要求するタイミングをユーザー毎に設定することができます。



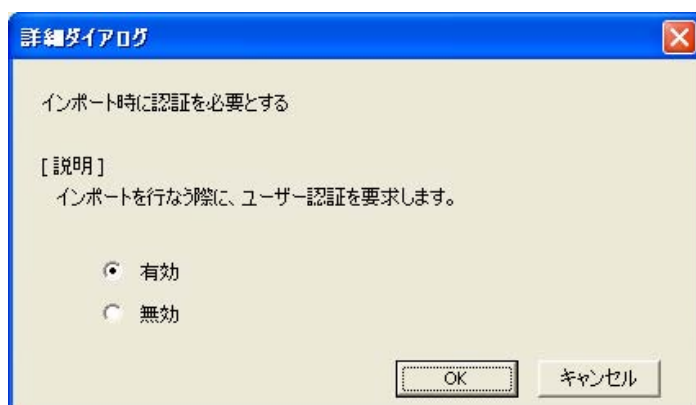
NASCA 管理者は「ポリシー設定」を起動できません。

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「ポリシー設定」をクリック



設定を行うポリシーをダブルクリックしてください。

「詳細ダイアログ」が開き、設定の変更を行うことができます。



- 2 各ポリシーを設定して、「完了」ボタンをクリック

5 ユーザー認証機能

Windows ログオン認証

Windows へログオンする際や、コンピュータのロックを解除する際に、様々な認証デバイスを使用することができます。

あらかじめ設定された認証規則に必要な認証情報の読み取りや、パスワードの入力が全て完了したら、「OK」ボタンをクリックしてください。



- 認証デバイスからの認証情報の読み取りが完了すると、各デバイス画像の下に [READ] と表示されます。
- 認証デバイスの状態が不正な場合、デバイスの画像に×が表示されます。
- TPM を認証に使用する場合は、その他のデバイスからの認証情報の読み取りが完了したあとで、TPM PIN を入力し、最後に「OK」ボタンをクリックしてください。

メモ

- 認証デバイスからの認証情報を読み取るには、以下の操作を行ってください。

指紋	指紋センサ上に指を置き、ゆっくりと引いてください。
USB メモリ	USB ポートに USB メモリを挿入してください。
FeliCa カード	FeliCa ポートに FeliCa カードをかざしてください。
SD メモリーカード	SD メモリーカードスロットに SD メモリーカードを挿入してください。

- 認証に必要な情報の読み取りが全て正しく完了した場合、「OK」ボタンをクリックせずに、自動的にログオンすることができる場合があります。 認証に必要な情報の読み取りが完了しても、自動的にログオンすることができない場合は、認証情報の読み取りを再度行うか、「OK」ボタンをクリックしてください。
- USB メモリは、最大3つまで同時に接続した状態で認証を行うことができます。USB メモリを4つ以上接続した場合は、認証デバイスとしては正しく動作しません。

参照

認証情報／認証規則の登録方法については、「4 ユーザー情報管理機能」(p.8)をご覧ください。

チェック

認証規則を設定していない場合(ユーザーの初回ログオン時含む)は Windows パスワードを入力して Windows へログオンしてください。

ユーザー認証

ユーザー管理ユーティリティなどで、ユーザーの秘密情報(認証情報／認証規則)に関する設定を行う場合や、ポリシー設定で認証が必要とされている操作を行う際に、以下のダイアログボックスが表示され、ユーザー認証が求められます。



Windows ログオン認証と同様に、認証に必要な情報の入力や、デバイスからの情報の読み取りを行い、「OK」ボタンをクリックしてください。

チェック

認証規則の設定が完了していない場合は、ダイアログボックス右下の「パスワード>>」ボタンをクリックした後、Windows パスワードを入力してください。

6 TPM によるデータ保護

TPM を搭載した装置では、NASCA が管理するデータの一部を、TPM を用いて暗号化することができます。TPM を使用することで、より安全にデータを保護することができます。

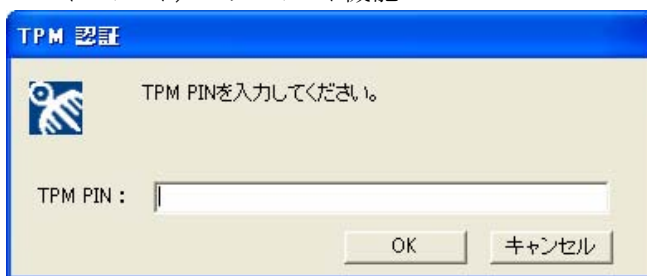
メモ

TPM によるデータ保護を行うかどうかは、インストール時に選択することができます。詳しくは、「3 インストール／アンインストール」の「インストール」(p.5)をご覧ください。

TPM 認証

Web フォームバンク機能／アプリケーションバンク機能で管理するデータの一部は、TPM を用いた暗号化によって保護されます。TPM を用いた暗号化を行うためには TPM 認証を行う必要があるため、以下の機能を使用中に TPM 認証ダイアログが表示される場合があります。

- Web フォームバンク機能
- アプリケーションバンク機能
- インポート／エクスポート機能



正しい TPM PIN を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
ただし TPM PIN がキャッシュされている場合は、認証は求められません。

参照

TPM PIN のキャッシュに関する設定方法は、「4 ユーザー情報管理機能」(p.8)をご覧ください。

チェック

- インストールのオプションタイプを選択する際に、「登録したデータを保護するために TPM を使用します」を選択していない場合、TPM による暗号化が行われなため、TPM 認証は行なわれません。TPM を使用しない場合は、Windows に搭載された暗号化機能によって登録したデータを保護します。
- TPM の初期化が完了していない場合や、TPM が無効になっている場合は、Web フォームバンク機能／アプリケーションバンク機能を使用することができません。あらかじめ TPM が使用可能な状態であることを確認してください。
- TPM が破損してしまった場合やクリアしてしまった場合、Web フォームバンク機能／アプリケーションバンク機能が使用できなくなってしまう場合があります。この場合でも TPM の復元を行うことによって、再度 Web フォームバンク機能／アプリケーションバンク機能が使用可能になる場合がありますので、TPM のバックアップを定期的に行うことをおすすめします。
TPM のバックアップと復元については、TPM のマニュアルをご覧ください。

7 Web フォームバンク機能

Internet Explorer に追加される以下のツールバーを使用して、表示中のページ上に存在する Web フォーム内の入力コントロールデータ(Web フォームバンクデータ)を取得し、データベースに保存、管理する機能です。

データを保存した Web ページを表示した際に、以前保存した情報を表示させることもできます。



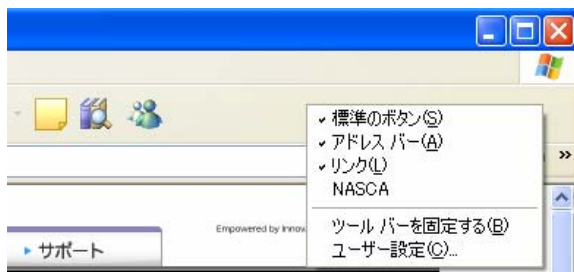
メモ

Web フォームバンク機能で管理するデータの一部は、TPM を用いた暗号化によって保護されます。TPM を用いた暗号化を行うためには、TPM 認証を行う必要があります。TPM 認証については、「6 TPM によるデータ保護」(p.23)をご覧ください。

チェック

Internet Explorer に NASCA のツールバーが表示されない場合は、以下の手順で設定を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「Internet Explorer」をクリック
「Internet Explorer」が表示されます。
- 2 Internet Explorer のツールバー上で右クリックをし、メニューから「NASCA」を選択



チェック

Web フォームバンク機能をご使用になる前に、以下の手順で初期設定を行ってください。

- 1 Internet Explorer ツールバーより「オプション設定」メニューを選択
「オプション設定」(p.29)が表示されます。
- 2 「オプション設定」で設定を確認し、必要があれば設定を変更
- 3 「OK」ボタンをクリック

Web フォームデータ登録

Web フォームバンク機能で、以下のデータを登録することができます。

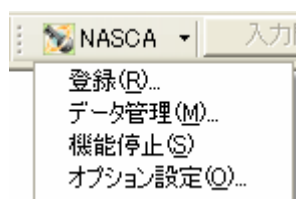
ボタン	自動的にボタンを押す設定を保存します。
テキスト	テキストデータを保存します。
パスワード	パスワードを保存します。
ラジオボタン	ラジオボタンの選択情報を保存します。
チェックボックス	チェックボックスのチェックの有無を保存します。
選択メニュー	プルダウンメニューなどを保存します。
複数行テキスト	複数行に渡るテキストデータを保存します。

以下の手順で使用する機能を選択してください。

1 「スタート」ボタン→「Internet Explorer」をクリック

「Internet Explorer」が表示されます。

2 Internet Explorer のツールバーにある「NASCA ▼」をクリック



登 録

Internet Explorer ツールバーより「登録」メニューを選択すると、登録画面が表示されます。



登録可能な情報がない Web ページを登録することはできません。

- 1 登録するアイテム名をクリックし、「アイテム情報>>」ボタンをクリック
「アイテム情報」が表示されます。

このページでは、常にこのデータを自動入力する	この Web ページが表示された際に、この登録情報を自動的に入力します。 1 つの Web ページに対して、1 つの登録情報のみ設定できます。その他の登録情報は同時に設定できません。新規に設定した場合、以前設定していた登録情報の「このページでは、常にこのデータを自動入力する」設定は無効になります。
データ入力後、送信処理を自動的に行う	登録したデータの入力完了後、データの送信処理（「OK」／「送信」ボタンのクリック等）を自動的にを行い、次の画面に進みます。

- 2 「アイテム情報」欄に必要な情報を入力する

- 3 「OK」ボタンをクリック



すでに同じ Web ページのアイテム情報を登録している場合は、上書き登録になります。複数のアイテム情報を追加登録したい場合は、「データ管理」(p.28)で登録済みアイテム情報をコピーし、編集してください。

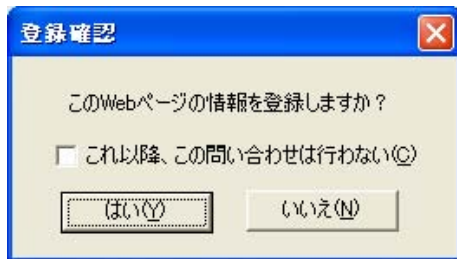
登 録 （自動登録）

自動登録機能が有効になっている場合、Internet Explorer ツールバーで「登録」メニューを選択しなくても、Web ページの登録を行うことができます。

参照

自動登録機能の設定方法については、「オプション設定」(p. 29) をご覧ください。

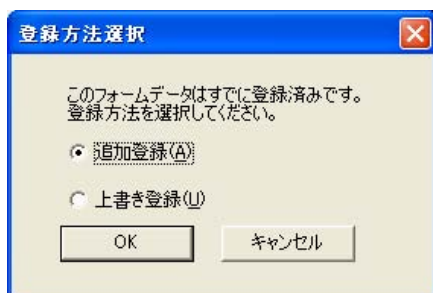
- 1 「スタート」ボタン→「Internet Explorer」をクリック
「Internet Explorer」が表示されます。
- 2 Internet Explorer で登録したい Web ページを表示する
- 3 表示中の Web ページ内にある Web フォームに必要な情報を入力し、情報の送信を実行（「OK」「送信」などのボタンをクリック）
- 4 「登録確認」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリック



メモ

「Web フォーム登録の問い合わせを行う」オプションが有効になっていない場合、この画面は表示されません。

- 5 「登録方法選択」画面が表示されたら、「追加登録」／「上書き登録」のどちらかを選択し、「はい」ボタンをクリック



メモ

表示中の Web ページの情報を初めて登録する場合は、この画面は表示されません。

以降の手順は、「登録」(p.26) と同じです。

データ 管理

Internet Explorer ツールバーより「データ管理」メニューを選択すると、登録済みのデータの一覧が表示され、登録済みデータの名前変更、コピー、削除をすることができます。

メモ

「Web フォームデータ管理」は「スタート」メニューからも起動させることができます。
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「Web フォームバンク設定」をクリックしてください。



Web ページ情報はツリー構造で表示されます。

Web ページを選択時	名前変更	名前を変更します。
	削除	情報を削除します。
	ページを開く	選択した Web にアクセスします。
登録済みデータを選択時	コピー	登録済みデータをコピーします。
	削除	登録済みデータを削除します。
	アイテム情報>>	登録したアイテム情報が表示され、内容の変更を行うことができます。

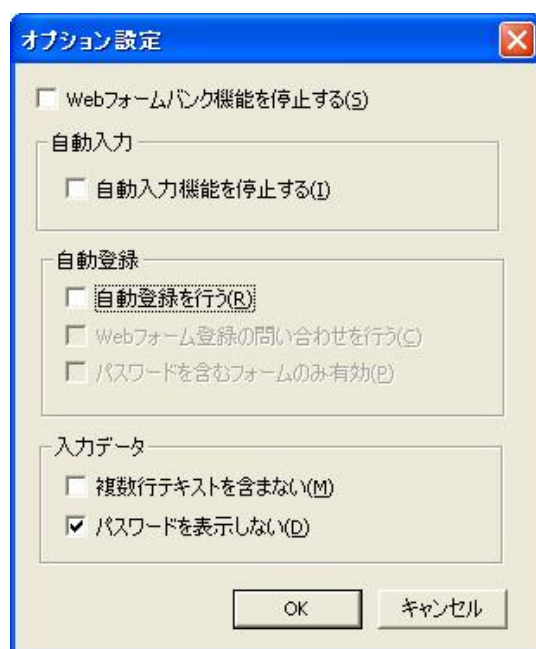
機能停止／機能開始

Internet Explorer ツールバーより「機能停止」または「機能開始」メニューを選択することで、自動入力、および自動登録機能の停止／開始を制御(オプション設定「Web フォームバンク機能を停止する」の有効／無効を変更)することができます。

インストール直後の設定では、Web フォームバンク機能が開始しているため、「機能停止」が表示されます。

オプション設定

Internet Explorer ツールバーより「オプション設定」メニューを選択すると、「オプション設定」画面が表示され、Web フォームデータの自動登録等の設定を行うことができます。



※インストール直後は、上記のように設定されています。

Web フォームバンク機能を停止する		自動入力、および自動登録機能を停止します。
自動入力	自動入力機能を停止する	自動入力を行いません。
自動登録	自動登録を行う	Web ページ上でデータを入力し、「OK」などのボタンを押すと、入力した情報を自動的に登録できます。
	Web フォーム登録の問い合わせを行う	自動登録を行う前に、登録の続行を確認するダイアログを表示します。
	パスワードを含むフォームのみ有効	自動登録が有効な場合、パスワードを含むフォームの場合のみ、自動登録を行います。
入力データ	複数行テキストを含まない	複数行にわたるテキストを含むものは登録しません。
	パスワードを表示しない	パスワード部分を「●」で表示します。

Web フォームデータ入力補助

データ入力補助

以前登録を行った Web ページで、登録した情報を入力します。

- 1 Internet Explorer の「NASCA」ツールバーの「データ入力補助」のプルダウンメニューから登録済みの Web フォームデータを選択する



- 2 「入力開始」ボタンをクリック



プルダウンメニューには、表示している Web ページの登録済みフォーム名のみ表示されます。

自動入力機能

Web ページが表示された際に、登録済み Web フォームデータを Web ページに対して自動的に入力することができます。1 ページに対して 1 つの登録済みアイテムのみ設定できます。



自動入力設定時でも、登録時のフォームデータの構成が変更されている場合は登録済みのデータは入力されません。

8 アプリケーションバンク機能

アプリケーションに表示されている入力コントロールデータ(アプリケーションバンクデータ)を取得し、データベースに保存、管理する機能です。

登録済みのアプリケーションを起動した際に、以前保存した情報を入力することもできます。

メモ

アプリケーションバンク機能で管理するデータの一部は、TPM を用いた暗号化によって保護されます。TPM を用いた暗号化を行うためには、TPM 認証を行う必要があります。TPM 認証については、「6 TPM によるデータ保護」(p.23)をご覧ください。

チェック

通知領域(タスクトレイ)にアプリケーションバンクアイコンが表示されていない場合は、以下の方法でアプリケーションバンク機能を起動してください。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「アプリケーションバンク機能開始」をクリック

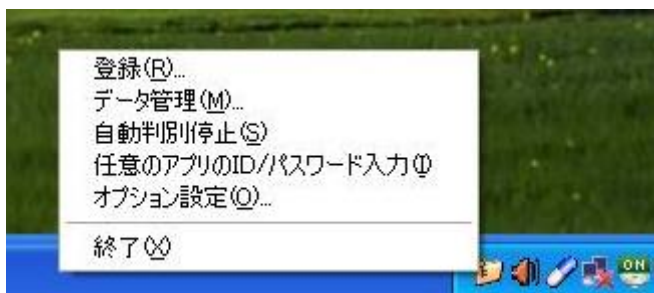


アプリケーションバンクデータ登録

アプリケーションバンク機能で、以下のデータを登録することができます。

ボタン	自動的にボタンを押す設定を保存します。
テキスト	テキストデータを保存します。
パスワード	パスワードを保存します。
チェックボックス	チェックボックスのチェックの有無を保存します。

通知領域(タスクトレイ)に表示されているアプリケーションバンクアイコンを右クリックすると、メニュー(タスクトレイメニュー)が表示されます。タスクトレイメニューから使用する機能を選択してください。



登 録

タスクトレイメニューより「登録」メニューを選択すると、アプリケーションバンクデータの登録ができます。

メモ

アプリケーションバンク機能は以下のアプリケーションをサポートしています。

- Microsoft Office 2003／2007（Word、Excel、Outlook、PowerPoint）
- Internet Explorer 6.0／7.0
- Outlook Express 6.0
- リモートデスクトップ接続（シェルバージョン 6.0）
- Adobe Reader 8.0
- Windows Messenger 4.7

チェック

以下の場合、アプリケーションバンクデータの登録ができない場合があります。

- アプリケーションのウィンドウに登録可能な情報がない場合
- アプリケーションのタイトルバーにタイトルがない場合
- 特殊な作りをしているウィンドウの場合
- サポートされていないアプリケーションの場合

- 1 登録を行う対象アプリケーションに情報を入力する
- 2 通知領域(タスクトレイ)のアプリケーションバンクアイコンを右クリック
- 3 タスクトレイメニューから「登録」をクリック

登録画面が表示され、アプリケーションに入力した登録情報が表示されます。
また、登録対象アプリケーションのウィンドウが点滅します。

登録

アプリケーション情報

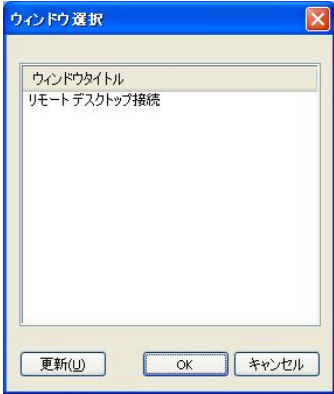
C:\WINDOWS\system32\mstsc.exe
【リモート デスクトップ接続】

アイテム名: NASCA-PCへログオン

データ	タイプ
NASCA	テキスト
有効(156, 162)	オートクリック

☒ オートクリック 設定(C) ☐ 自動入力時にはこのデータを使う(I)

ウィンドウ選択(W) OK キャンセル

オートクリック設定	データ入力補助(p.36)を行う際、登録したデータの入力完了後に、対象アプリケーションにあるボタンを自動的にクリック(オートクリック)することができます。  以下の方法でオートクリック設定を行ってください。 1 選択カーソル(十字のアイコン)をクリック 2 選択カーソルをクリックしたまま、オートクリックをするボタンへドラッグ&ドロップ 3 「OK」ボタンをクリック
ウィンドウ選択	登録対象アプリケーションを変更することができます。  変更するアプリケーションのウィンドウタイトルを選択し、「OK」ボタンを押してください。 ウィンドウ選択画面の内容と実際の内容に差が生じてしまった場合は、「更新」ボタンをクリックすることで表示を最新の状態に更新することができます。
自動入力時にはこのデータを使う	このアプリケーションのウィンドウが表示された際に、この登録情報を自動的に入力します。 1 つのアプリケーションのウィンドウに対して、1 つの登録情報のみ設定できます。その他の登録情報は同時に設定できません。新規に設定した場合、以前設定していた登録情報の「自動入力時にはこのデータを使う」設定は無効になります。

4 「OK」ボタンをクリック

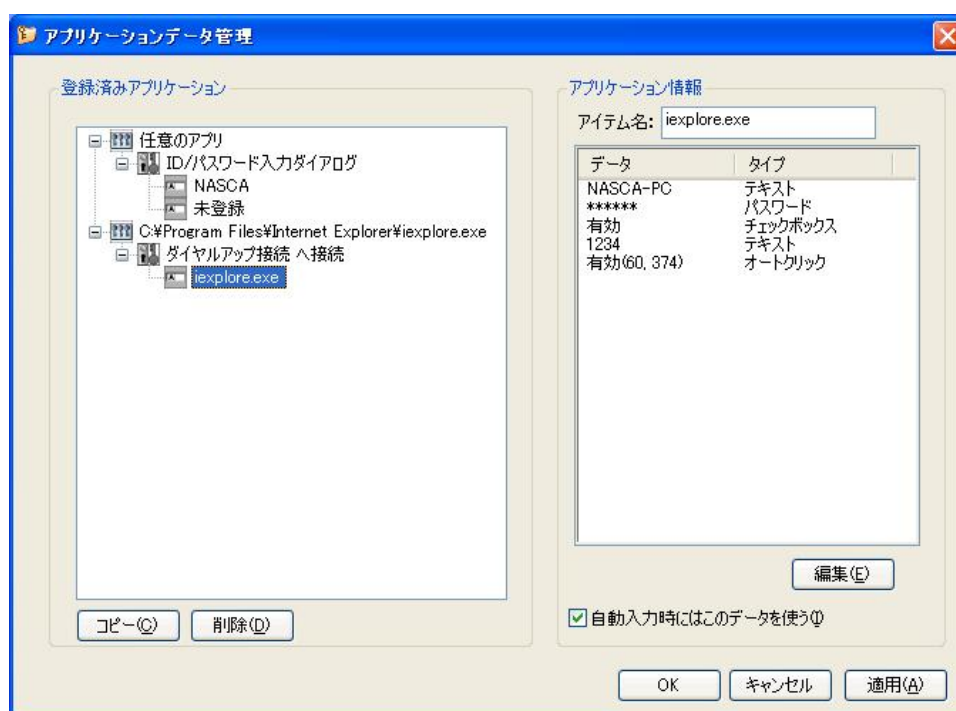
以上で登録は完了です。

データ 管理

タスクトレイメニューより「データ管理」メニューを選択すると、登録済みのデータの一覧が表示され、登録済みデータのコピー、編集、削除をすることができます。

メモ

「アプリケーションデータ管理」は「スタート」メニューからも起動させることができます。
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「アプリケーションバンク設定」をクリックしてください。



登録情報はツリー構造で表示されます。

登録済みアプリケーション	コピー	登録済みデータをコピーします。
	削除	情報を削除します。
アプリケーション情報	編集	登録済みデータを変更します。 変更するデータを選択して「編集」ボタンを押すと、タイプに応じた編集画面が表示されます。
	自動入力時にはこのデータを使う	「自動入力時にはこのデータを使う」設定を変更します。

チェック

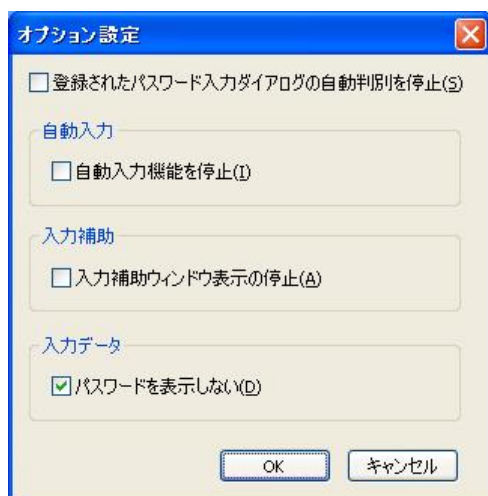
オートクリック設定の編集では、オートクリックの有効／無効を変更することができます。オートクリックを行う座標を変更する場合は、アプリケーション情報を再登録する必要があります。

自動判別停止／自動判別開始

タスクトレイメニューより「自動判別停止」または「自動判別開始」メニューを選択することで、自動入力、および入力補助機能の停止／開始を制御(オプション設定「登録されたパスワード入力ダイアログの自動判別を停止」の有効／無効を変更)することができます。
インストール直後の設定では、自動判別が開始されているため、「自動判別停止」が表示されます。

オプション設定

タスクトレイメニューより「オプション設定」メニューを選択すると、「オプション設定」画面が表示され、アプリケーションバンク機能の設定を行うことができます。



※インストール直後は、上記のように設定されています。

登録されたパスワード入力ダイアログの自動判別を停止		自動入力、および入力補助機能を停止します。
自動入力	自動入力機能を停止	自動入力を行いません。
入力補助	入力補助ウィンドウ表示の停止	入力補助ウィンドウを表示しません。
入力データ	パスワードを表示しない	パスワード部分を「●」で表示します。

任意のアプリのID／パスワード入力

タスクトレイメニューより「任意のアプリの ID／パスワード入力」メニューを選択すると、任意のアプリケーションに対してあらかじめ登録した情報を入力することができます。詳しくは「任意のアプリのID／パスワード入力」(p.37)をご覧ください。

終了

タスクトレイメニューより「終了」メニューを選択すると、アプリケーションバンク機能を終了させることができます。

メモ

アプリケーションバンク機能を再度起動させる際の手順は、「8 アプリケーションバンク機能」(p.31)をご覧ください。

アプリケーションバンクデータ入力補助

データ入力補助

以前登録を行ったアプリケーションに、登録した情報を入力します。

1 データ入力補助を行う対象アプリケーションを起動する

デスクトップ画面の右下に、「入力補助」ウィンドウが表示されます。



2 プルダウンメニューから登録済みアプリケーション情報を選択する

3 「入力開始」ボタンをクリック

対象アプリケーションに登録済みデータが入力されます。



- プルダウンメニューには、表示されているアプリケーションの登録済みアイテム名のみ表示されます。
- 登録済みアプリケーションが起動していない場合、入力補助ウィンドウは表示されません。

自動入力機能

以前登録を行ったアプリケーションのウィンドウが表示された際に、登録済みデータをアプリケーションに対して自動的に入力することができます。1つのアプリケーションのウィンドウに対して、1つの登録済みアイテムのみ設定できます。

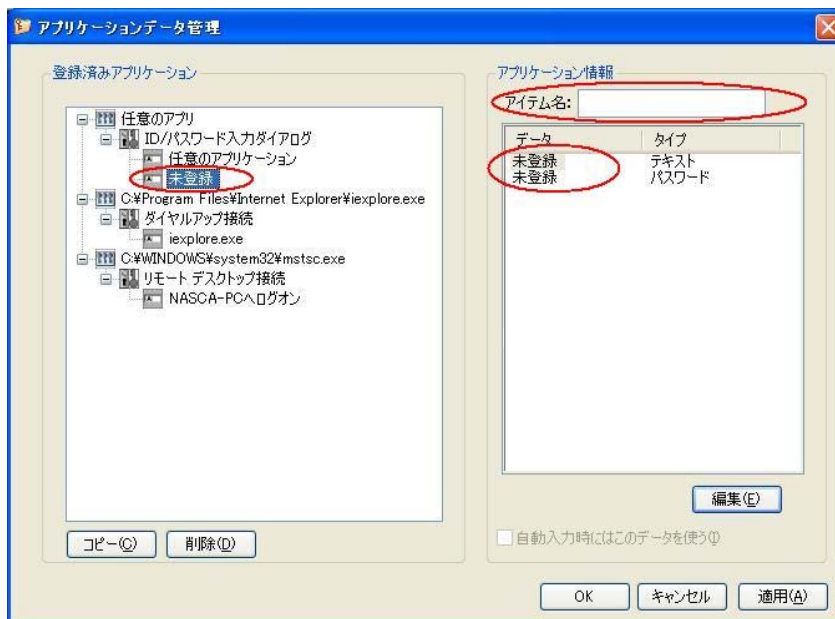
任意のアプリのID/パスワード入力

ID とパスワード入力欄が表示されている任意のアプリケーションに対して、登録した情報を入力することができます。

登録

任意のアプリケーションに入力する情報を登録します。

- 1 通知領域(タスクトレイ)のアプリケーションバンクアイコンを右クリック
- 2 タスクトレイメニューから「データ管理」をクリック
データ管理画面が表示されます。
- 3 「登録済みアプリケーション」から、「任意のアプリ - ID/パスワード入力ダイアログ - 未登録」を選択
任意のアプリに入力するアプリケーション情報の入力欄が表示されます。アイテム名を入力してください。



※未登録を選択した場合、データ欄には“未登録”と表示されます。

- 4 「アプリケーション情報」の各データを選択し、「編集」ボタンをクリック
編集画面が表示されます。ID またはパスワードのデータを入力してください。

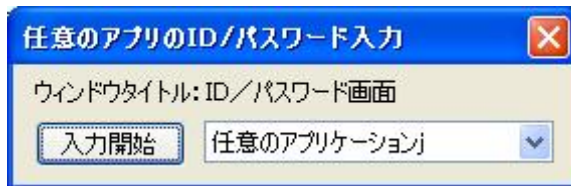
メモ

登録可能なデータは、テキスト形式とパスワード形式の二つのデータです。

データ入力補助

テキスト形式とパスワード形式の二つのフォームを持った任意のアプリケーションに対して、登録した情報を入力します。

- 1 データ入力補助を行う対象アプリケーションを起動する
- 2 通知領域(タスクトレイ)のアプリケーションバンクアイコンを右クリック
- 3 タスクトレイメニューから「任意のアプリの ID／パスワード入力」をクリック
デスクトップ画面の右下に、「任意のアプリの ID／パスワード入力」ウィンドウが表示されます。



メモ

「任意のアプリの ID／パスワード入力」ウィンドウは、通知領域(タスクトレイ)にあるアプリケーションバンクアイコンをダブルクリックして表示させることもできます。

- 4 プルダウンメニューから登録済みアプリケーション情報を選択する
- 5 「入力開始」ボタンをクリック
対象アプリケーションに登録済みデータが入力されます。

チェック

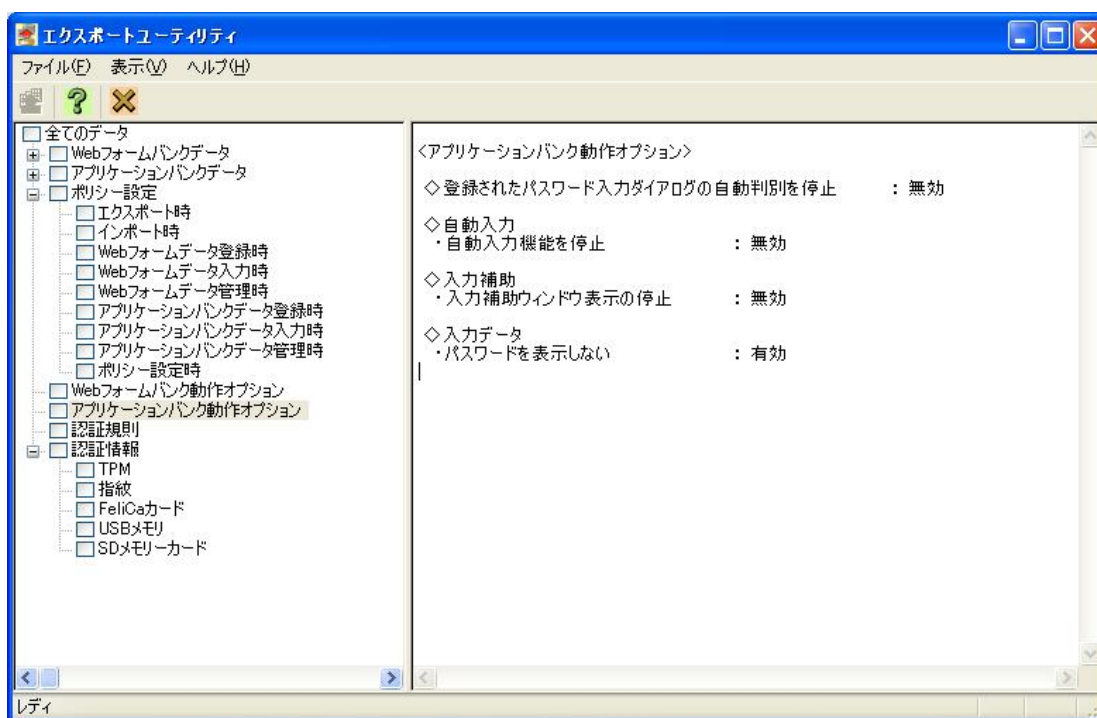
テキスト形式とパスワード形式の二つのフォームが含まれるアプリケーションのみ、データ入力補助が可能です。

9 エクスポート／インポート機能

エクスポート機能では、Web フォームバンクデータやポリシー設定などの各種データをファイルに保存することができます。インポート機能では、保存した各種データをファイルから取り込むことができます。

エクスポート

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「エクスポートユーティリティ」をクリック
「エクスポートユーティリティ」が表示されます。

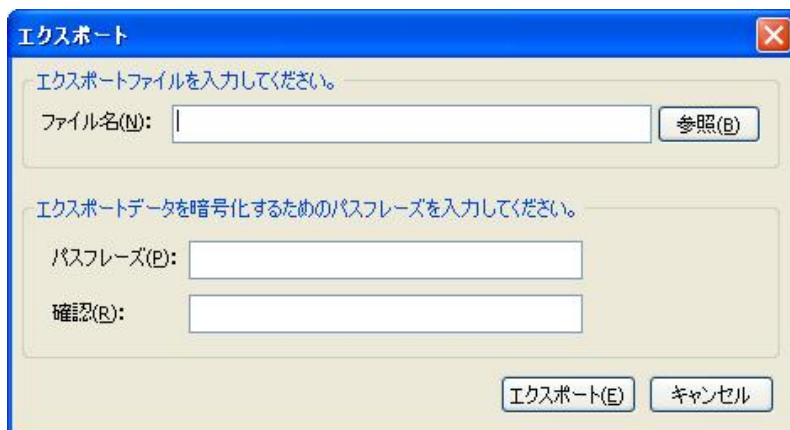


各項目の内容は次の通りです。

全てのデータ	Web フォームバンクデータ、アプリケーションバンクデータ、ポリシー設定、動作オプション、認証規則、認証情報をすべてエクスポートします。
Web フォームバンクデータ	アイテム名、URL、フォーム名、説明、各コントロールのデータなど登録済みのフォームデータをエクスポートします。
アプリケーションバンクデータ	アイテム名、各コントロールのデータなど登録済みのアプリケーションデータをエクスポートします。
ポリシー設定	ポリシー設定をエクスポートします。
動作オプション	Web フォームバンク、アプリケーションバンクのオプション情報をエクスポートします。
認証規則	認証規則をエクスポートします。
認証情報	認証デバイスの情報をエクスポートします。

データをエクスポートする際に、ユーザーの機密情報部分(「Web フォームバンクデータのパスワード部分」、「アプリケーションバンクデータのパスワード部分」、「ユーザーの認証情報／認証規則」)を暗号化することができます。暗号化を行う場合は、復号化用のパスフレーズを設定する必要があります。

- 2** エクスポートする項目をチェックボックスで選択し、「ファイル」メニューの「エクスポート」をクリック
「エクスポート」が表示されます。



メモ

TPM PIN のキャッシュ設定が「恒久的に TPM PIN をキャッシュする」になっている場合、TPM の認証情報をエクスポートできません。

- 3** 「エクスポート」画面が表示されたら、ファイル名、パスフレーズを入力し、「エクスポート」ボタンをクリック
※ データの暗号化を行わない場合は、パスフレーズを入力する必要はありません。

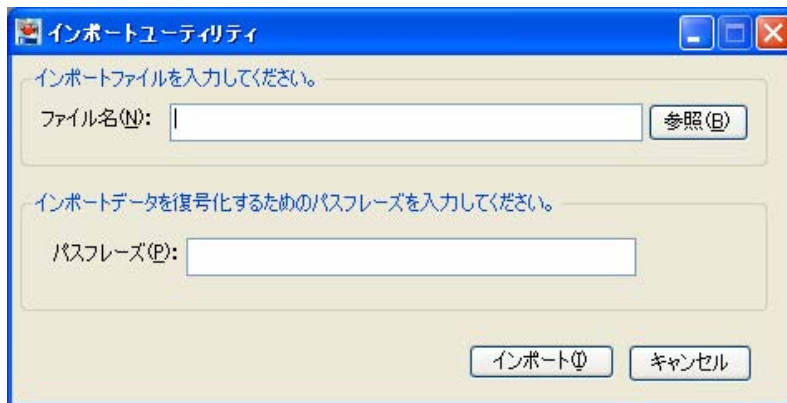
チェック

- NASCA 管理者は「エクスポートユーティリティ」を起動できません。
- パスフレーズはインポートする際に使用します。パスフレーズを正しく入力しない場合は、インポートできませんのでご注意ください。
- エクスポート処理では、セキュリティで保護された情報にアクセスするため、エクスポートユーティリティ起動時に、ユーザー認証・TPM 認証が必要となります。認証に成功していない場合、保護された情報をエクスポートすることはできません。

以上でエクスポートは完了です。

インポート

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「NEC Authentication Agent(NASCA)」→「インポートユーティリティ」をクリック
「インポートユーティリティ」が表示されます。



- 2 「インポートユーティリティ」画面が表示されたら、インポートするファイル名、パスフレーズを入力し、「インポート」ボタンをクリック
※ エクスポート時にパスフレーズを設定していない場合は、入力する必要はありません。

チェック

- NASCA 管理者は「インポートユーティリティ」を起動できません。
- インポート処理では、セキュリティで保護された情報にアクセスする場合があるため、ユーザー認証・TPM 認証が複数回必要となる場合があります。認証に成功していない場合、保護された情報をインポートすることはできません。
- NASCA 管理者が許可していない認証規則をインポートすることはできません。

以上でインポートは完了です。

10 Q&A

Q1

Windows へログオンできない(ユーザー向け)

A1

認証デバイスの異常などにより Windows へログオンできない場合は、パスワードを入力して Windows へログオンしてください。



正しいパスワードを入力しても Windows へログオンできない場合は、管理者へ問い合わせてください。

Q2

Windows へログオンできない(管理者向け)

A2

設定した認証デバイス、またはパスワードを使用しても Windows へログオンできない場合は、「ユーザー初期化ツール」を使用して、認証規則を初期化してください。



- 「ユーザー初期化ツール」を使用すると認証規則が初期化されます。認証規則の初期化後は必要に応じて再設定してください。
- 「ユーザー初期化ツール」は NASCA 管理者以外のユーザーでは起動できません。

- 1** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2** 「名前」に「NscResetUser.exe」と入力して、「OK」ボタンをクリック
- 3** 「ユーザー初期化ツール」画面が表示されたら、Windows にログオンできなくなったユーザーを選択して、「OK」ボタンをクリック
- 4** 「このユーザーの認証規則は消去されます。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5** 「認証規則の消去を完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 6** 認証規則を削除したユーザーでパスワードを入力して Windows へログオンする

Windows へログオン後、必要に応じて認証規則を再設定してください。

Q3

Web フォームバンク機能で登録できない Web ページがある。

A3

その Web ページの構造に関係がある可能性があります。

Web フォームバンク機能では、標準的な HTML で作成された Web ページをサポートしています。ただし、標準的な HTML で作成された Web ページにも数多くのパターンが存在しており、その Web ページの構造を正確に把握できないため、登録できない可能性があります。

Q4

アプリケーションバンク機能で登録できないアプリケーションがある。

A4

アプリケーションバンク機能がサポートしていないアプリケーションの情報を登録することはできません。また、サポートしているアプリケーションであっても、特殊な作りをしているウィンドウでは一部の情報を登録できない場合があります。

登録できないアプリケーションに対して、「任意のアプリのID／パスワード入力」機能によって入力補助を行うことができる場合があります。詳しくは「8 アプリケーションバンク機能」の「任意のアプリのID／パスワード入力」(p.37)をご覧ください。

Q5

ユーザー登録ウィザードや、ユーザー認証画面で、間違った Windows パスワードを何度も入力したら、その後正しい Windows パスワードを入力しても、認証に成功しなくなりました。

A5

これは NASCA の仕様によるものです。

何回か連続で Windows パスワード認証に失敗すると、Windows のシステム管理者が設定したポリシーによっては、アカウントがロックされてしまう場合があります。この場合はシステム管理者に連絡し、アカウントのロックを解除してもらう必要があります。

Q6

バッテリー駆動中に休止状態・スタンバイ状態から復帰したら、正しい TPM PIN を入力してもロックが解除できなくなった。

A6

コンピュータがバッテリー駆動中に、休止状態やスタンバイ状態から復帰すると、TPM の動作が不安定になり、TPM 認証が正常に行えなくなる場合があります。

この状態になってしまった場合、以下の方法でロックの解除をお試してください。

- Windows パスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック
- もう一度スタンバイ状態に移行し、AC アダプタを接続した上で、再度ロックの解除を試みる
- 管理者に連絡し、ユーザー"Nasca-Admin"でロックを解除する

メモ

「コンピュータのロックの解除」画面からスタンバイ状態に移行する場合は、以下の操作を実行してください。

- 1 「スタンバイ」ボタンをクリック
- 2 「スタンバイ状態に移行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

Q7

デバイス認証から Windows パスワード認証へ、認証規則を切り替える方法は？

A7

認証規則の登録後、Windows パスワード認証(認証規則なし)に再度戻す場合は、ユーザーの認証規則を初期化する必要があります。

NASCA 管理者に連絡し、「ユーザー初期化ツール」を使用して認証規則を初期化してください。

NASCA 管理者は、以下の操作を実行してください。

チェック

「ユーザー初期化ツール」は NASCA 管理者以外のユーザーでは起動できません。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に「NscResetUser.exe」と入力して、「OK」ボタンをクリック
- 3 「ユーザー初期化ツール」画面が表示されたら、パスワード認証に切り替えたいユーザーを選択して、「OK」ボタンをクリック
- 4 「このユーザーの認証規則は消去されます。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック
- 5 「認証規則の消去を完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

以上で認証規則の初期化は完了です。

Q8

Windows ログオン認証時やコンピュータのロック解除時に、「パスワードの更新」という画面が表示される。

A8

この画面は、NASCA が保持しているユーザーの Windows パスワード情報と実際のパスワード情報に差分が検出された場合に表示されます。

ドメインユーザーのパスワードがサーバー側で変更された場合などに、この画面が表示されることがあります。

この画面で正しいパスワードを入力し直してください。

Q9

Windows ログオン認証時やコンピュータのロック解除時の画面で、全てのデバイスのアイコンに「×」が表示されてしまい、デバイス認証ができない。

A9

NASCA に異常が発生している可能性があります。

このような状態になってしまった場合は、一度システムを再起動してください。

作業中の場合は、正しいログオンユーザー名と Windows パスワードを入力してログオンし、必要な情報の保存などを行ってからシステムを再起動してください。

Q10

休止状態・スタンバイ状態から復帰したら、指紋や USB メモリを読み取らなくなってしまった。

A10

コンピュータが休止状態やスタンバイ状態から復帰すると、認証デバイスの動作が不安定になり、認証情報の読み取りが正常に行えなくなる場合があります。

この状態になってしまった場合、以下の方法でロックの解除をお試ください。

- もう一度スタンバイ状態に移行し、再度ロックの解除を試みる
- NASCA 管理者に連絡し、ユーザー"Nasca-Admin"でロックを解除する

メモ

「コンピュータのロックの解除」画面からスタンバイ状態に移行する場合は、以下の操作を実行してください。

1 「スタンバイ」ボタンをクリック

2 「スタンバイ状態に移行しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをクリック

Q11

NASCA の挙動がおかしくなった。アプリケーションの起動やユーザー認証に成功しない。

A11

NASCA の状態が不正になっている可能性があります。このような場合は、まず再起動を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、NASCA のデータベースが破損している可能性があります。「データベース診断ユーティリティ」を使用して、データベースの診断と初期化を行ってください。

- 1** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2** 「名前」に「NscChkDB.exe」と入力して、「OK」ボタンをクリック
- 3** 「データベース診断ユーティリティ」画面が表示されたら、診断結果が「異常」となっているデータベースのチェックボックスをクリック
- 4** 「初期化」ボタンをクリック
- 5** 診断結果が「正常」になったことを確認して、「終了」ボタンをクリック

以上でデータベースの初期化は完了です。

データベースの初期化後は、必要に応じて初期化されたデータを登録し直してください。

チェック

診断の結果、異常が検出されなかった場合やデータベースの初期化完了後も問題が解決しない場合は、NASCA 管理者に連絡し、ユーザー"Nasca-Admin"でログオン後に同じ手順でデータベースの診断を行ってください。

メモ

以下のような現象が起きている場合は、データベースが破損している可能性があります。

- Web フォームバンク機能を使用中に、「データベースオープンに失敗しました」と表示される
- エクスポートユーティリティ／インポートユーティリティが起動しない
- ポリシー設定機能を起動したときに、「情報の取得に失敗しました」と表示される
- ユーザー認証画面で、全デバイスのアイコンが表示されない。または全て「×」が表示されてしまう
- 「Windows へログオン」画面、「コンピュータのロックの解除」画面での認証中にパスワードの更新を要求されるが、パスワードの更新に成功しない

Q12

NASCA をインストールしたコンピュータに対して、リモートデスクトップ接続などを使いリモート接続を試みたが、接続に成功しない。

A12

NASCA をインストールしたコンピュータへのリモート接続はサポートしていません。
リモート接続を行う場合は、接続先のコンピュータにインストールされている NASCA のログオン機能「GINA」をアンインストールする必要があります。一部機能をアンインストールする手順については、「3 インストール／アンインストール」(p.5)をご覧ください。